

2020年3月期 第3四半期決算 説明資料

株式会社 **トクヤマ**
2020年1月31日



2020年3月期 第3四半期決算のポイント

- 半導体を中心とする国内需要や原燃料価格の推移の今後の見通しに不透明感があるものの、通期計画達成に向けて引き続き注力。
- 原燃料は、石炭価格下落の効果が本格的に出始め、ナフサ価格も低位に推移したため石化製品でスプレッドを維持。
- 半導体市場は回復の兆しが見られ始めたものの、顧客の在庫調整のため、半導体関連製品販売の本格的回復は来期以降。

CONTENTS

- 1 2020年3月期 第3四半期決算
- 2 2020年3月期 業績予想
- 3 トピックス
- 4 補足資料

① 2020年3月期 第3四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

1. 決算概要

(億円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	2,382	2,365	△17	△1	主力製品を中心に販売が軟調に推移
営業利益	254	247	△7	△3	主力製品を中心に販売が軟調に推移
経常利益	236	237	+1	+0	営業外損益の改善
親会社株主に帰属する 四半期純利益	195	180	△15	△8	特別利益の減少
1株当たり 四半期純利益(円)	281.56	259.32	-	-	-
為替(円/\$)	111	109	-	-	-
国産ナフサ価格 (円/kl)	52,000	42,300	-	-	-

1. 決算概要

(億円)

	2019年3月末	2019年12月末	増減	主要な変動要因
総資産	3,796	3,809	+12	現金及び預金の増加
自己資本	1,527	1,663	+135	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	40.2%	43.7%	+3.4ポイント	-
有利子負債	1,289	1,199	△90	長期借入金の減少
D/Eレシオ	0.84	0.72	△0.12	-
ネットD/Eレシオ*	0.40	0.28	△0.11	-
1株当たり純資産 (円)	2,199.83	2,395.45	-	-

*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

(億円)

	2019年3月期 第3四半期		2020年3月期 第3四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	742	126	711	117	△30	△4	△9	△7
特殊品	420	68	384	44	△36	△9	△23	△35
セメント	690	22	664	26	△26	△4	+4	+18
ライフアメニティー	400	23	423	23	+23	+6	△0	△3
その他	443	27	491	48	+48	+11	+20	+75
計	2,696	269	2,675	260	△21	△1	△8	△3
セグメント間消去・ 全社費用	△313	△14	△310	△13	+3	-	+1	-
連結決算	2,382	254	2,365	247	△17	△1	△7	△3

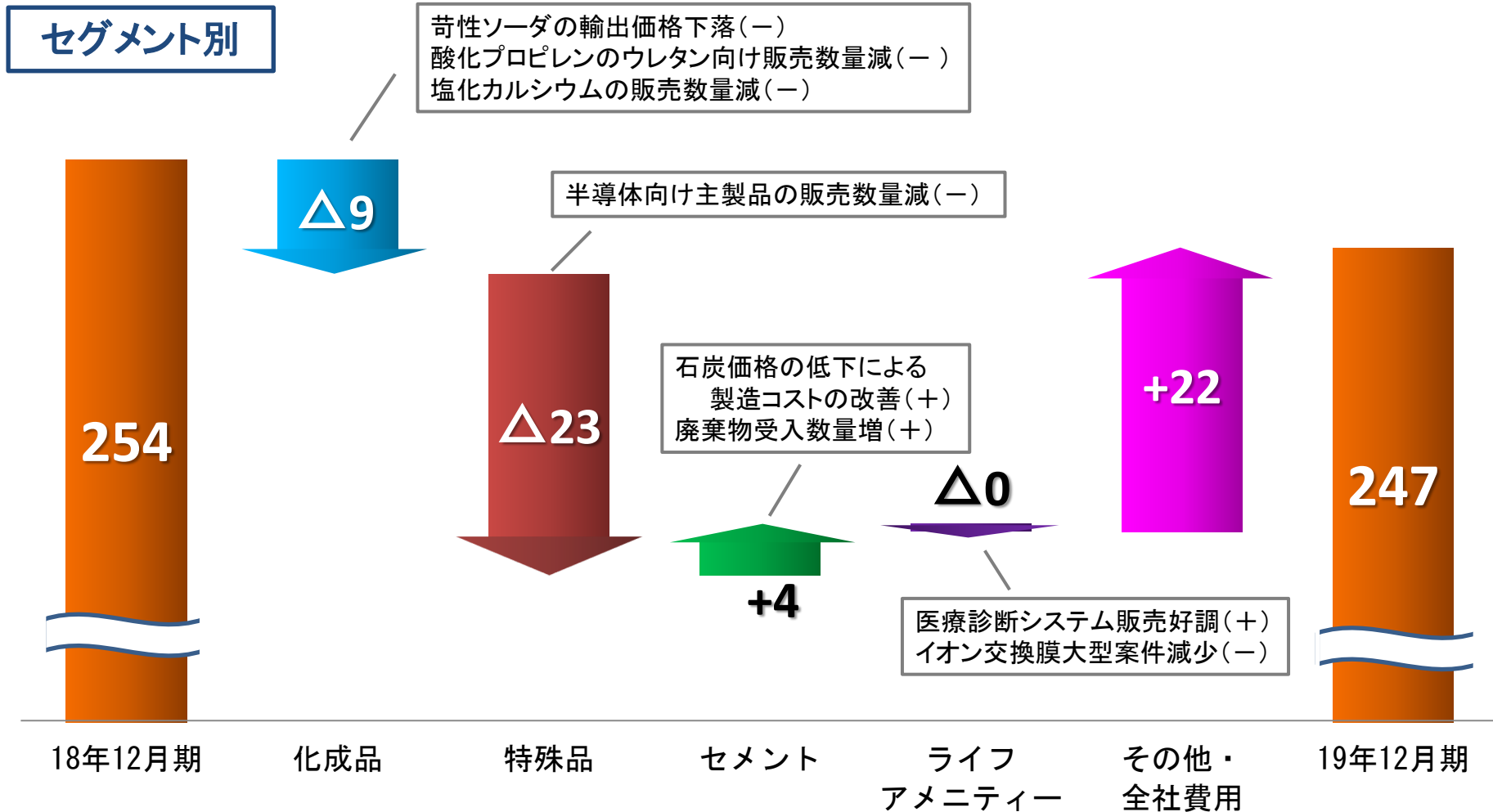
(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

* 当期・前年同期ともに報告セグメントの変更を反映した数値を記載

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

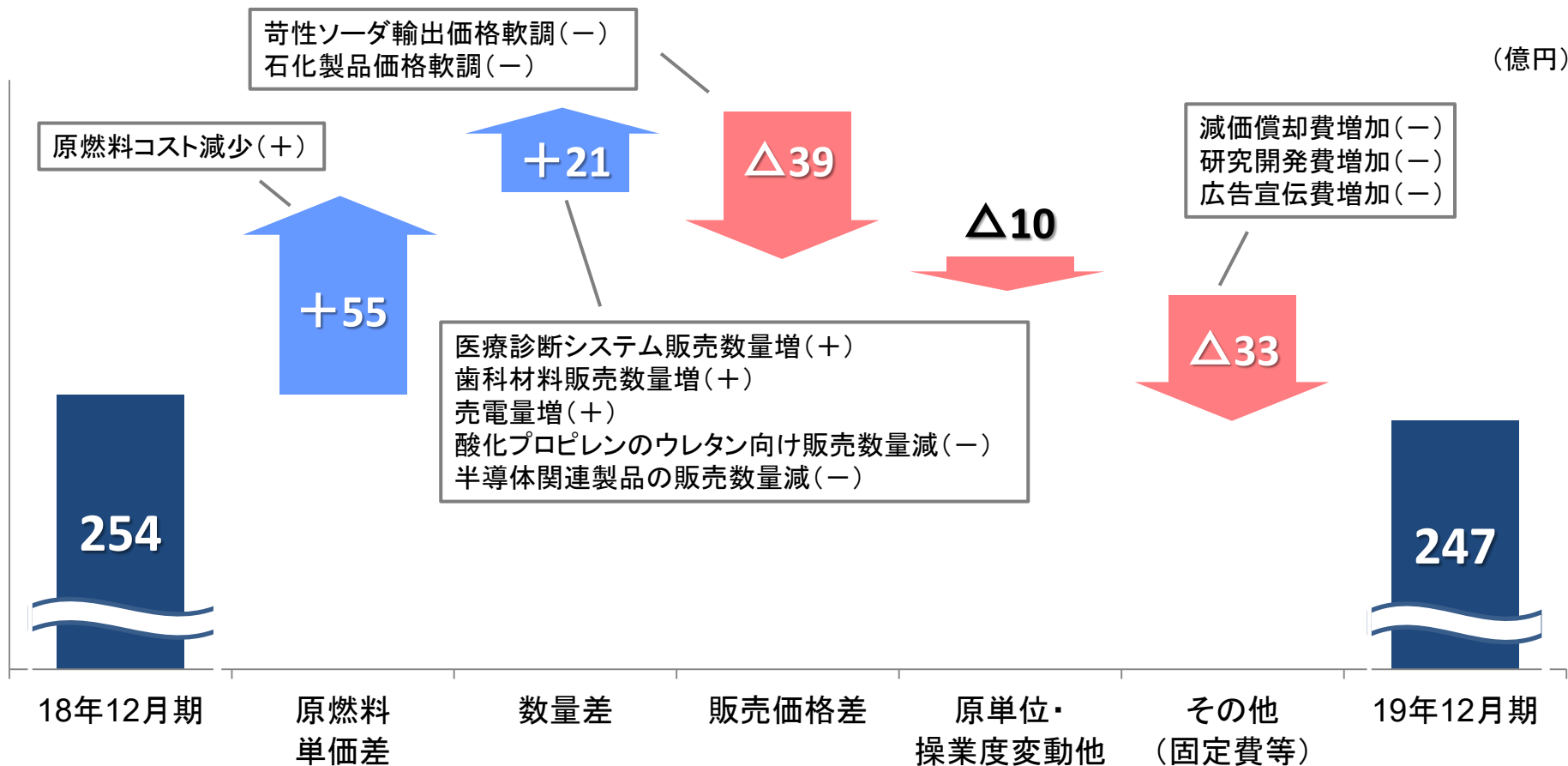
(億円)



3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別

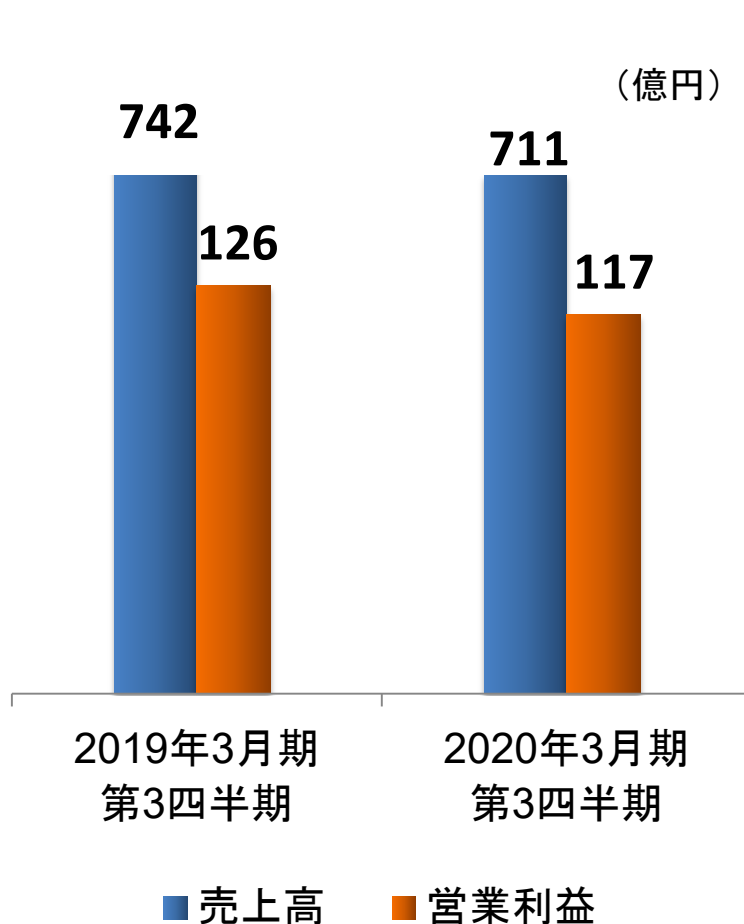


4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

化成品

減収減益

定性情報



(苛性ソーダ)

- ・販売数量は堅調に推移したものの、原料価格の上昇及び海外市況の下落により、減益

(塩ビ樹脂)

- ・スプレッド維持に努めたことにより、増益

(酸化プロピレン)

- ・主要用途であるウレタン向けの販売数量が減少したことにより、減益

(塩化カルシウム)

- ・少雪の影響により販売数量が減少したこと、及び物流費の増加により、減益

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

特殊品

減収減益

定性情報

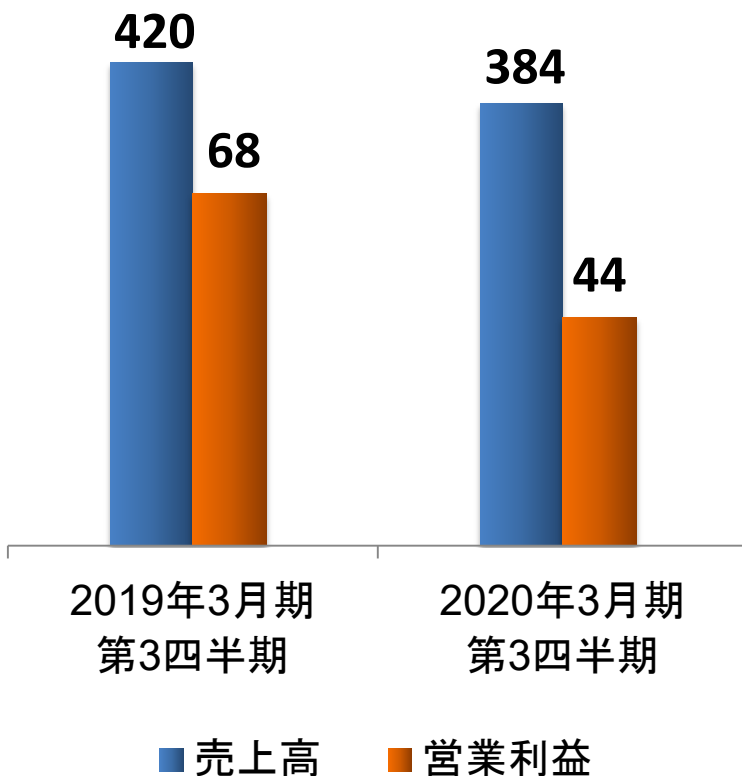
(億円)

(半導体向け多結晶シリコン 及び 放熱材)

- ・顧客の在庫調整により販売数量が減少し、減益

(電子工業用高純度薬品)

- ・海外向けを中心として販売数量が回復し、前年同期並み



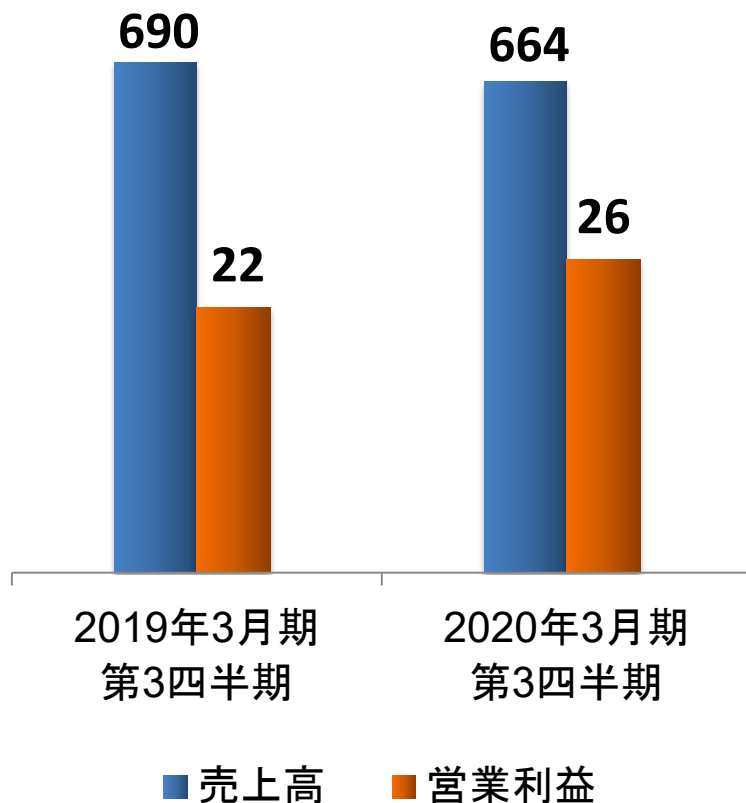
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

セメント

減収増益

定性情報

(億円)



(セメント)

- ・石炭価格の下落による製造コストが低減したものの、販売数量が軟調に推移したこと、及び修繕費等の固定費の増加により、減益

(資源リサイクル)

- ・廃棄物の受入数量が増加したため、増益

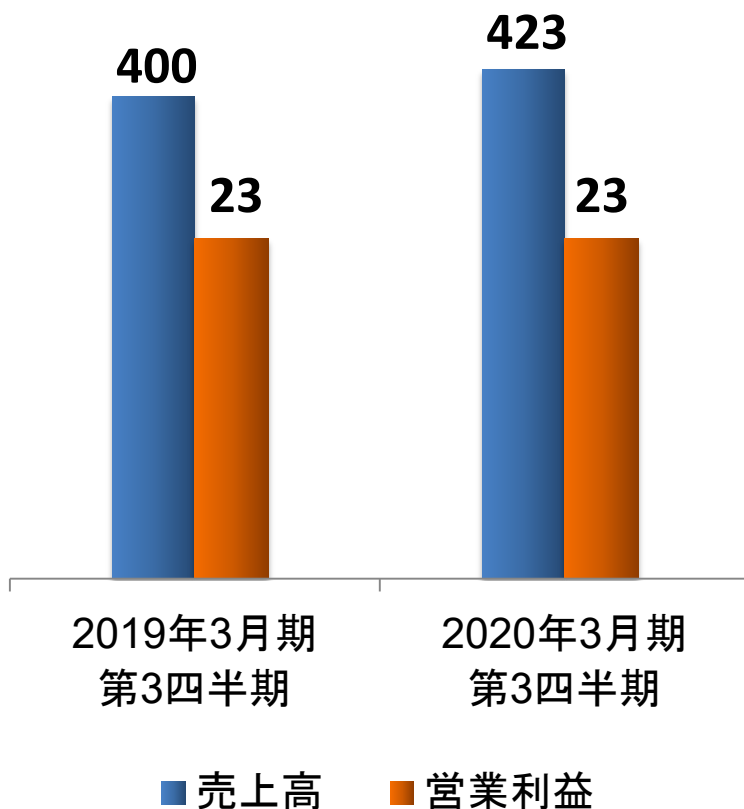
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析 (前年同期比)

ライフアメニティー

増収減益

定性情報

(億円)



(プラスチックレンズ関連材料)

- ・メガネレンズ用フォトクロミック材料の販売数量が増加し、増益

(歯科器材)

- ・海外を中心に販売数量は増加したものの、新製品の上市に伴う広告宣伝費の増加により、減益

(医療診断システム)

- ・臨床検査機器システム案件受注が増加し、増益

(イオン交換膜)

- ・大型案件の減少により、減益

* 当期・前年同期ともに報告セグメントの変更を反映した数値を記載

2 2020年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想



1. 業績予想

(億円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,246	3,220	△26	△1	-
営業利益	352	350	△2	△1	-
経常利益	334	340	+5	+2	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	342	260	△82	△24	-
1株当たり 当期純利益(円)	493.26	374.35	-		-
為替(円/\$)	111	1~3Q実績:109	-		-
		4Q前提:110			
国産ナフサ価格 (円/kg)	49,500	1~3Q実績:42,300	-		-
		4Q前提:44,500			

2. セグメント別業績予想

(億円)

	2019年3月期実績		2020年3月期予想		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	983	168	960	165	△23	△2	△3	△2
特殊品	596	99	570	75	△26	△5	△24	△25
セメント	923	32	900	40	△23	△3	+7	+25
ライフアメニティー	543	32	580	40	+36	+7	+7	+24
その他	623	43	630	50	+6	+1	+6	+15
計	3,671	375	3,640	370	△31	△1	△5	△2
セグメント間 消去・全社費用	△425	△23	△420	△20	+5	-	+3	-
連結決算	3,246	352	3,220	350	△26	△1	△2	△1

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3 トピックス

1. 今後の事業環境と取り組み

1. 今後の事業環境と取り組み

	事業環境	取り組み
化成品	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石炭価格は低位で推移するが、ナフサ価格は中東の地政学的リスクを受け、不安定な動き ■ 苛性ソーダの国内需要はやや軟化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ スプレッド維持 ■ 苛性ソーダ国内販売価格維持、輸出強化
特殊品	<ul style="list-style-type: none"> ■ 半導体関連製品市場は、5Gの商用化に向かって踊り場から脱する見込み ■ 更なる微細化の進展による高品質化要求の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 需要回復に備えた生産・供給体制の強化 ■ 高品質化対応による差別化
セメント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 石炭などの原料コストが低位で推移 ■ 内需はオリンピック需要が過ぎ都市再開発等が必要を支えるが、今後は国土強靱化などの公共事業に期待 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販売価格是正 ■ 製造コストの徹底した削減 ■ セメントの輸出強化
ライフアメニティー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢化の進展などによる健康志向の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究開発を中心としたヘルスケア分野での展開強化 ■ 非ヘルスケア分野事業の収益改善



Chemistry with a heart

TOKUYAMA



4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 業績推移

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	差 損 益	
			金額	%
売上高	2,382	2,365	△17	△1
売上原価	1,662	1,637	+24	+1
販管費	466	480	△14	△3
営業利益	254	247	△7	△3
営業外損益	△17	△9	+8	-
経常利益	236	237	+1	+0
特別損益	1	△3	△5	-
税前三半期純利益	238	233	△4	△2
法人税等	38	47	△8	△23
非支配株主損益	4	6	△2	△60
親会社株主に帰属する 四半期純利益	195	180	△15	△8

(注) 差損益の表示は、利益を+、損失を△としている

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(億円)

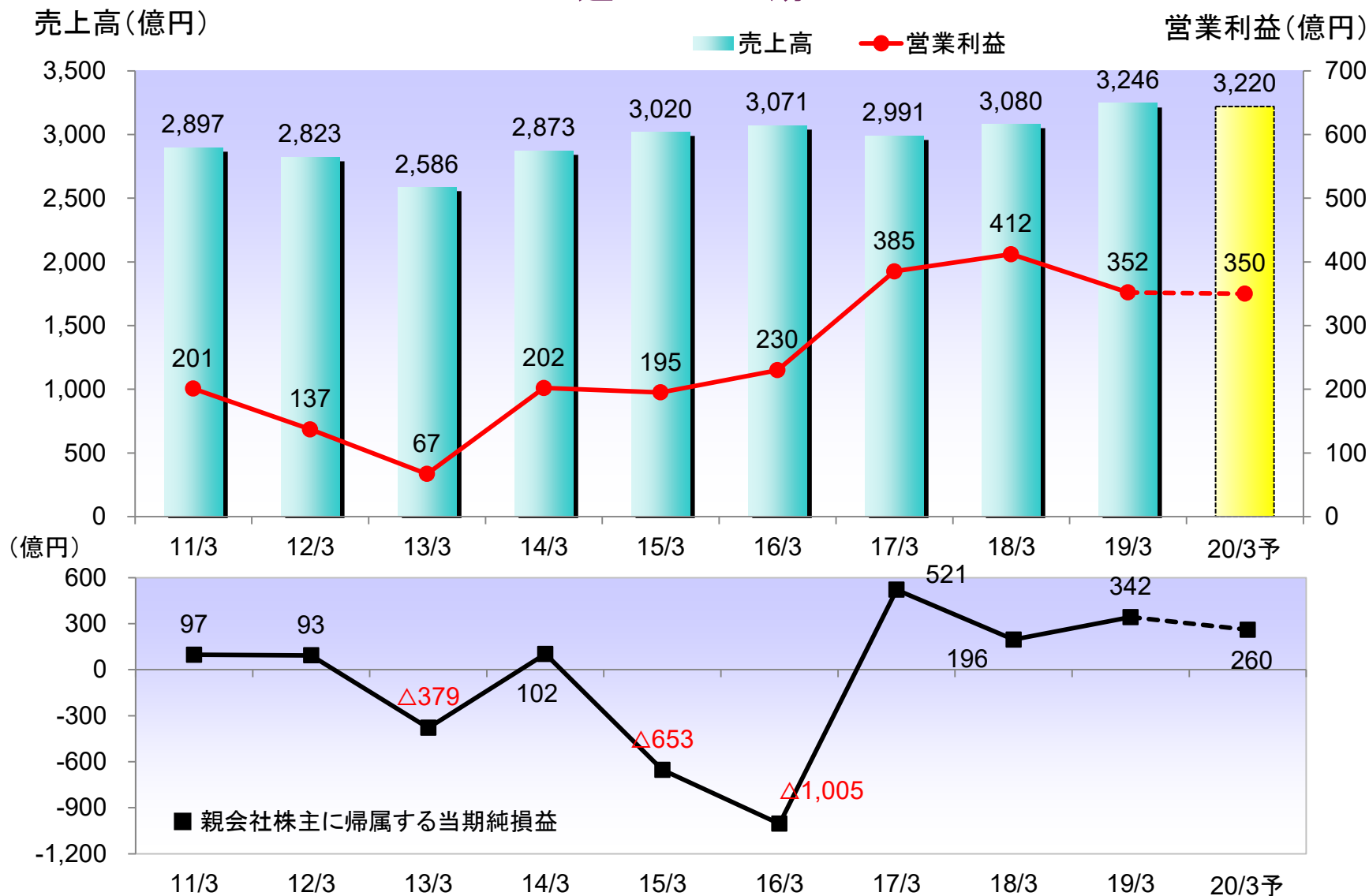
	2019年3月末	2019年12月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,796	3,809	+12	+0
流動資産	2,029	1,984	△44	△2
有形固定資産	1,161	1,201	+40	+4
無形固定資産	19	16	△2	△15
投資その他の資産	586	605	+19	+3

	2019年3月末	2019年12月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,161	2,032	△128	△6
流動負債	932	922	△10	△1
固定負債	1,228	1,110	△118	△10
純資産合計	1,635	1,776	+141	+9

4 補足資料

2. 業績推移

通 期

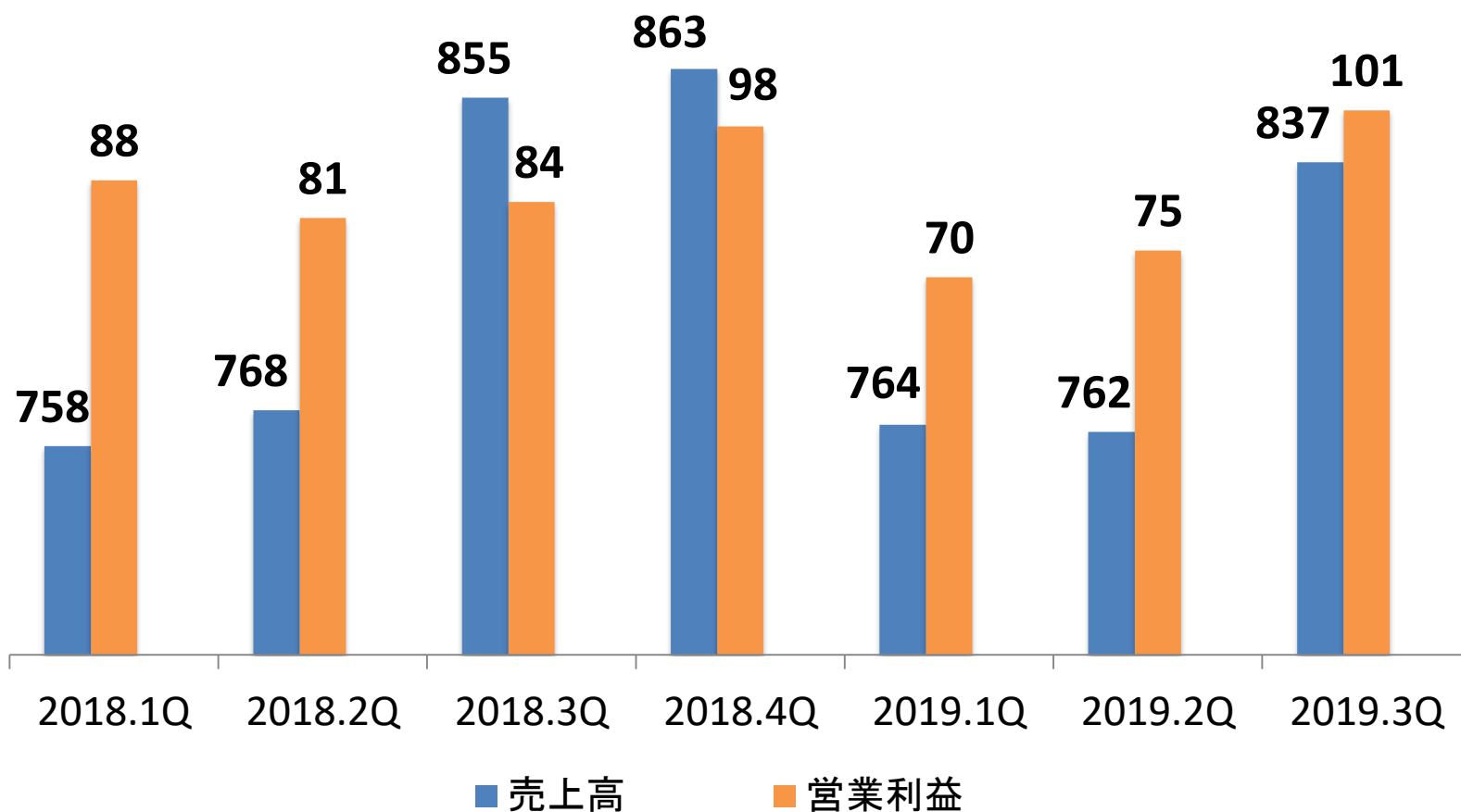


2. 業績推移

連結

四半期

(億円)

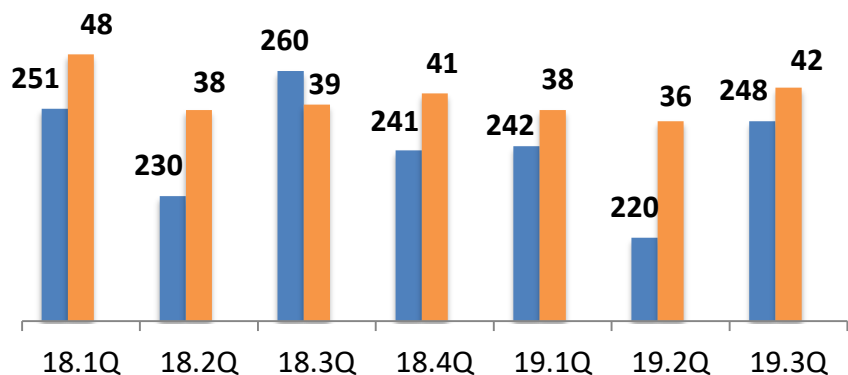


2. 業績推移

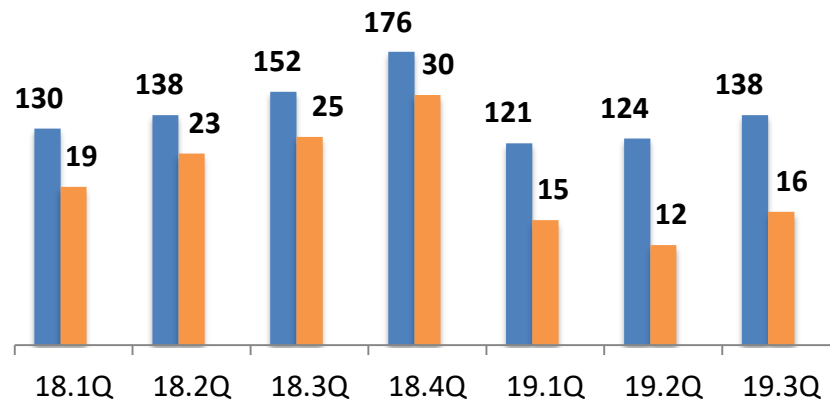
四 半 期

(億円)

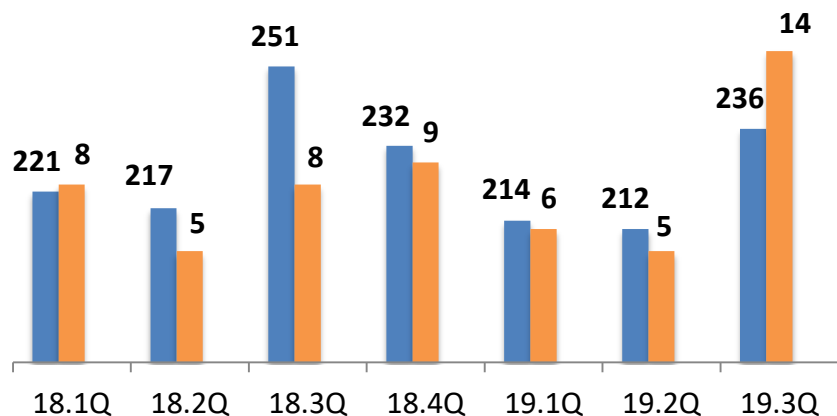
化粧品



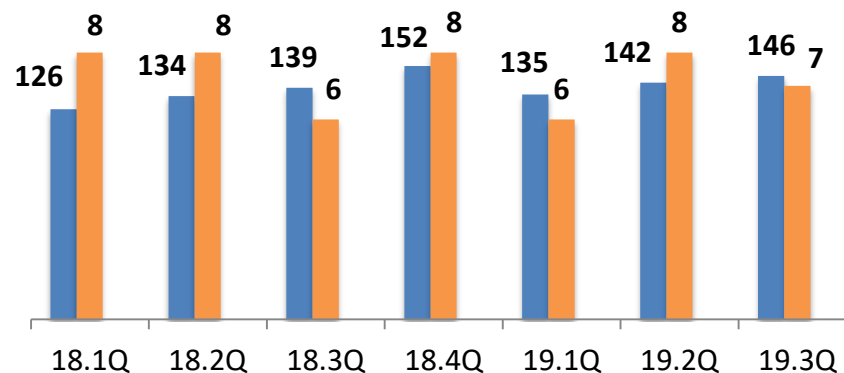
特殊品



セメント



ライフアメニティー



■ 売上高 ■ 営業利益

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

